



明日へ

学校教育目標

自律:自ら考え、判断し、行動する生徒

尊重:他者を理解し、協働する生徒

創造:健全な精神と豊かな発想で、創意工夫する生徒

学校テーマ

～みんなで創る！ 夢・実現する学校～

親子防災教室

9月2日(火)、授業参観日における授業の一環として、市役所防災マネージャーの松田博之氏を講師として「親子防災教室」を開催しました。

今回の「親子防災教室」のねらいとして、『親子で学んだ防災知識を積極的に活用し、家庭でも平常時から防災意識向上を図ること』としています。

講師の松田氏からは、「防災意識の基本は自助としつつ、中学生からは共助の視点を持つての行動を意識する」等の貴重なお話がありました。



大規模災害時において中学生は、支援を受ける立場（災害弱者）ではない。
支援をする側（支援者）になるべき。

- 『自ら考えて自分の命を守ることができる』
- 『自ら生き抜く力を育む』
- 『仲間を助ける行動力を養う』



糸満市総合防災訓練から

【↑講話の中で印象に残ったスライド】

〈生徒からのお礼の言葉〉 3年 松山寧維さん

今日はお忙しい中、防災講話を開いて下さりありがとうございます。豊見城市民である私でもわからなかった豊見城の課題、目標を楽しくわかりやすく学ぶことができました。



また防災に関する取り組みを多く行っている豊崎中の生徒としても、いつ起きるかわからない地震などの災害の危険性や、危険場所、防災弱者を助ける方法をまだまだ知ることや、それを伝えることが大切だと思いました。

「生きるか死ぬかは、日頃の準備」や、「自分の命を守れない人は、他者を助けることはできない」を心にきざみます。

今日は本当にありがとうございます。

第15回九州中学校テニス大会に参加して

2年 加藤 禾菜さん

①九州大会に参加しての感想

中学生になってから初めて、中体連で九州大会へと出場しました。最初は少し緊張しましたが一試合目は、自分の日頃のプレーを出すことができ、自分の中では良いプレーで一勝することができました。二試合目では、相手の子も、同級生で少し強い子と当たりました。試合では少し緊張していましたが、自分のプレーでぶつかっていくことができました。相手はラリーを続けるのが上手で、自分から先にミスをしてしまい、相手の得点にしてしまい、足りない部分を改めて実感しました。来年も九州大会に参加し、優勝へと近づけるように頑張りたいです。

②今回の出場を経験し、今後に生かしたいこと

今回、九州大会に出場を経験して、九州の選手のレベルの高さを実感しました。レベルの高い九州の子たちと打ち合い、試合をできたことは今後の大きな経験になりました。

今回は二回戦負けという結果で終わってしまったけど、今回の大会で見つけた自分の課題を、次へと生かせるように、ミスを減らしていき、次、九州大会へと参加する時には、全国大会へと参加できるように、日々、緊張感を持ちながら集中して全力で練習に取り組んでいきたいです。

全国学力・学習状況調査結果を踏まえた教育の推進

4月17日、中学3年生を対象に実施されました「全国学力・学習状況調査」における学力テストの結果が公表されました。

実施された【国語・数学・理科】について、本校はいずれの教科も、平均正答率が県及び全国平均を上回る結果となり、子どもたちの頑張りが見えました。

もちろん、学力テストの「数値」は、子どもたちの一面にすぎず、「数値」に振り回されるだけの学校教育であってはならないと考えます。

本校では、「数値結果」を参考にしつつ、「すべての生徒が持つ可能性を伸ばし、主体的にたくましくいきぬく生徒」の育成を目指し、子どもたちの「やる気・好き」が生まれる授業作りを進めていきます。